

「第8回 SDGs 学生小論文アワード」受賞論文決定 ～パーパスを起点に社会から“選ばれる”企業をテーマに7本が受賞～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、「第8回 SDGs 学生小論文アワード」by 住友理工の最終審査会を実施し、4 賞計 7 本の受賞論文を決定しましたのでお知らせいたします。審査委員長には高村ゆかり氏（東京大学 未来ビジョン研究センター教授）を迎え、厳正な選考・審査を経て、決定したものです。

募集テーマは「“パーパス”を起点に企業を変えるには～存在意義はなぜ必要なのか～」。SDGs や脱炭素、生物多様性の保全などが世界共通のルールとなる中、企業には表層的な取り組みではなく、存在意義の「パーパス」から見つめ直す抜本的な改革が求められています。では、企業はどのようにパーパスを再定義して、どう実装すれば社会から「選ばれる」企業になることができるでしょうか。国際情勢が不安定さを増すなかで、今後の社会、環境、経済の変化を踏まえて、学生ならではの独自の視点で、具体的な方法を提案していただきました。

最優秀賞は、井上寛人さん（慶應義塾大学大学院）の「個人パーパスの共鳴度でチーム結成ーパーパスドリブン文化祭ー」。最優秀次席には、原理菜子さん、浅野真輝さん、大塚咲希さん（いずれも法政大学）の「Why（パーパス）から Where（ビジョン）へ」と、渡邊幹大さん（創価大学）の「『アート思考』による再定義と『インターナル・ブランディング』による実装」の2作品が選ばれました（各賞受賞者一覧参照）。

また、後日、受賞者と審査委員らとの意見交換の場を設ける予定です。

当社グループは、今回ご応募いただきました学生の皆さまの新鮮な意見を事業運営に生かし、「人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する企業」を目指すとともに、今後も、未来を担う若者の育成に貢献する活動を推進してまいります。

<「第8回 SDGs 学生小論文アワード」 by 住友理工 各賞受賞者一覧>

氏名・学校・研究科/学部	論文タイトル
最優秀賞（賞金 100 万円）	
井上 寛人 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科	個人パーパスの共鳴度でチーム結成 —パーパスドリブン文化祭—
最優秀次席（賞金 50 万円）	
原 理菜子 浅野 真輝 大塚 咲希 法政大学 人間環境学部	Why（パーパス）から Where（ビジョン）へ
渡邊 幹大 創価大学 経済学部	「アート思考」による再定義と「インターナル・ブランディング」による実装
優秀賞（賞金 10 万円）	
佐藤 紺衣 武智 香奈 慶應義塾大学 環境情報学部 総合政策学部	「Z 世代」×「つながり」を意識したパーパス・ブランディング
芹澤 実咲 北海道大学国際食資源学院 農学部	とあるスープ専門店のアルバイト経験から「パーパス」を再定義する
審査委員特別賞（賞金 3 万円）	
阿部 浩子 早稲田大学大学院 先進理工学研究科	製造業が技術を用いて豊かな社会の実現に貢献するために
石田 愁 大阪大学大学院 工学研究科	ホモ・サピエンスとして生まれたことを後悔しないために

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>